

令和 6 年度第 3 回摂津市産業振興アクションプラン懇話会 議事録

日時 : 令和 7 年 1 月 24 日(金) 14 時 00 分～15 時 15 分

開催場所 : 摂津市役所 南千里丘別館 産業支援ルーム

出席者 : 岩橋 亮 委員 山田 匡規 委員 谷川 幸広 委員
小川 佳美 委員 小石 英司 委員 島内 嘉紀 委員
渡邊 勝彦 委員

事務局 : 鈴木、山下、上田、福田（摂津市産業振興課）

配布資料 : 第 3 期摂津市産業振興アクションプラン（案）

議題 : 第 3 期摂津市産業振興アクションプラン（案）及びパブリックコメントについて

座長

それでは時間となりましたので、「令和 6 年度第 3 回産業振興アクションプラン懇話会」を開催いたします。本日もよろしくお願いいたします。まず初めに、事務局より本日の次第について説明がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局

（事務局より、次第の説明）

座長

ありがとうございます。それではさっそくですが、「第 3 期摂津市産業振興アクションプラン（案）」及びパブリックコメントについて、事務局より説明を受けます。

事務局

（事務局より、「第 3 期摂津市産業振興アクションプラン（案）」の説明。主に前回の懇話会から修正のあった箇所を中心に説明。）

座長

説明が終わりました。ここから議論をいただきたいと思いますが、各委員の立場から何かご意見、ご質問などはございませんか。

委員

P23の「展開Ⅰ 中小企業の経営力・競争力向上の促進」の『競争力』とは、製品価格のことでしょうか。

事務局

価格ではありません。本市には、オープンファクトリー・摂津ブランド・摂津ビジネスサポートセンターといった特徴的な取組があります。そのような取組は、中小企業のインナーブランディングの支援や新商品開発等に繋がり、その結果として競合他社との差別化を図ることができると考えています。競争力とはそのような意味合いを持ちます。

委員

普通の中小企業では、新商品開発のアイデアを出すことは難しいですし、ましてやブランド認定までしてもらうことは難しいかと思います。

事務局

現状の支援策としては二つあると思います。一つは、摂津ブランドの優技です。今年度のホクト工業様のようなプル型のビジネスモデルでも、その技術力は非常に高いものがあるので、優技として認定し、企業価値を高めることはできます。もう一つは摂津ビジネスサポートセンターの経営指導です。ビジサポの強みはクラウドファンディング等の新事業展開ですので、そのようなニーズには一定応えられると思います。

委員

今後は異業種間のコラボ事業が鍵となってくるのではないのでしょうか。私の会社でも、農福連携をテーマに事業を進めています。

委員

「視点2 中小企業がいきいきと活躍できるまち」に記載の項目は、市民視点か、それとも事業者目線なのか、そのあたりがわかりにくいと感じます。摂津市は農地の調整区域が少ないですが、収穫イベントを実施したり、都会から近いという特徴を活かした市民農園を作ったり、やれそうなことはあると思います。

委員

今までの話で共通しているのは、摂津ブランドもそうなのですが、稼ぐための事業とPRのための事業、両方があるんじゃないかと感じています。摂津市が「ものづくりのまち」としてこれから打ち出していくには、両方の整備が必要です。

委員

創業時の伴走支援が大事という話がありましたが、商店街の取組みや、昔ながらの豆腐屋・カメラ屋のような小規模店の支援もあればいいと思います。また空き店舗の

活用も、摂津市が音頭を取っていくべきです。

委員

空き店舗活用は、マッチングが重要です。摂津市が大家さんと不動産の間に入ることもできるのではないのでしょうか。

事務局

空き店舗活用については、本市の課題の一つと考えておりますので、引き続き対応策を検討してまいります。

事務局

先ほどもお話に上がった商店街の取組についてですが、「摂津市商工業活性化補助金」という補助金制度があります。アイデアさえ出していただければ、補助金交付が可能です。

委員

そのような補助金を知っている事業者は非常に少ないので、告知方法を考えてほしいです。LINE 等をもっと活用すべきだと思います。

事務局

LINE の機能を拡張し、セグメント配信が可能になりました。

委員

なかなか市民まで行き届いていないので、必要な情報はどんどん拡大していったほうがいいと思います。例えば、デジタルで摂津市の仮想タウンを作って、必要な情報を取りに行けたり貰えたりするようなシステムがあれば面白いなと思います。

委員

「ものづくりのまち」ならではの、企業の技術力を披露する場はないのでしょうか。企業の技術力のコンペやアイデア募集を行うことで競争力が向上するのではないかと思います。

委員

オープンファクトリー内でできるのではないのでしょうか。

委員

目玉となるような取組や以前との変化を実感できる取組があればと思います。

委員

今年度は市と商工会主催でオープンファクトリーを実施したほか、金融機関や大阪信用保証協会との勉強会を実施する等、「連携」が広がってきていると感じています。1 回で終わるのではなく継続的な事業として取り組んでほしいと思います。

座長

それでは一定のご意見も出ましたので、議論は終了とさせていただきます。本日出た意見を踏まえて、パブリックコメントを市民からいただき、今後正式な計画として校正に入ることになりますが、最終的な内容は事務局に一任ということでよろしいでしょうか。

委員

問題ありません。

座長

委員の皆様たくさんのご意見ありがとうございました。本日の議題は以上です。最後に次回の懇話会について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(事務局より次回の懇話会日程の提示)

座長

次回の懇話会日程につきましては、改めて事務局より開催通知があります。これをもって、本日の「令和６年度第３回摂津市産業振興アクションプラン懇話会」を終了いたします。